

会報 むすび

第40号

平成28年3月吉日
発行所
栃木県青年神職むすび会
広報委員会
発行人
柳田耕史
印刷所
株式会社 協栄社





会長挨拶

栃木県青年神職むすび会

第二十二代会長 柳田 耕史

常日頃、当会の諸事業にご協力を頂いております皆様には、篤く御礼を申し上げます。

また、昨年度は贊助会員制度を開始し、県内諸先輩方に贊助依頼をお願い申し上げましたところ、多くのご理解と激励の御贊助を賜りまして重ねて感謝申し上げます。お陰をもちまして、神青協や一都七県協議会の各種事業に参加する会員への補助や、恒例事業以外の研修会を実施することができ、新たな気づきや次のことへの意欲も顕れてまいりました。

さて、平成二十七年度は若手らしい感覚を大切に、恒例事業の他に境内事故対応保険勉強会や、多様化するメディア・インターネット・SNS環境からみる教化広報についての研修会を実施致しました。神社を護持運営していく中で起こりうる事故とその補償問題などについて、過去の事例や判例を参考に常日頃どういった準備をしておくべきか、どのような保険を検討し危機管理をせねばならないかについて、会員一同が熱心に学びました。教化広報研修会では、既存媒体を使用した広報・広告の市場規模の変化や、SNSによる発信の可能性、発信する側だけでなく情報を得る側の視点に立つた広報の必要性を学ぶことができました。

平成二十七年九月十日の関東東北豪雨災害では、栃木県内でも多くの被害を受け、会員の奉務神社でも土砂の流入や浸水被害がありました。東日本大震災の教訓を活かし、会員は奉務神社及び支部内神社の速やかな被害状況把握に努め、県内では最も大きな被害を受けた太平山神社への復興支援活動を行いました。雨の降る中ではあつたものの、多くの会員さらには先輩にも参加頂き、

被害状況の確認と本殿脇に流入した土砂の搬出作業を行いました。災害ボランティアとして一般の災害復興支援への参加も考えました。が、一企業とみなされる神社への公的補助や災害ボランティア派遣が基本的にはないことから、被災神社への支援を優先させて頂きました。自然災害の恐ろしさを感じながらも、普段恩恵を受けていたことを再認識しつつ、これから起ころうる種々の災害に十分な備えを怠らぬよう、会員一同が肝に銘じる機会となりました。

平成二十八年度は、地方創生と神社の関わりを学ぶ勉強会、会員

神社境内をお借りして青少年育成事業等を予定しております。人口減少に伴い、地方の神社を護持していくことは大きな課題となっています。そうした中で、国が地方創生を掲げ、栃木県・各市町はそれぞれに施策を打ち出しました。地域に根ざして伝統と文化の継承に関わってきた神社として、奉務神社鎮座地の自治体がどういう施策を講じるのか、そこに地域の代表者の一人でもある神主の立場でどう関わり協力していくことができるのか。二十年三十年後を見据えて学び、考える機会と致します。青少年育成事業では、まずは神社で、境内で、何らかの経験、体験を与えることを第一に柔らかい思考で事業を実施致したいと検討しています。

残りの任期も、神主としての本分を常に意識しながら、検討中の事業の実施と各種引き継ぎを視野に入れつつ、積極的に取り組んで参りたいと存じます。

関係各位には、今後ともご理解ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

【戦後七十年特集】

栃木県護国神社 例大祭・栃木県戦没者合同慰靈祭奉仕

四月二十八日、栃木県護国神社の例大祭・栃木県戦没者合同慰靈祭が斎行され、当会より六名の助勤奉仕をいたしました。本年は戦後七十年の節目の年であり、高齢化が進む遺族会の方々にとっても重要な年でした。当日の天気は快晴で、朝から気温が高く、夏さながらの陽気でした。

祭典に先立ち、社殿前にて修祓を執り行い、幣殿へ参進しました。遺族会の方々の席の間を通り、祓所へ一步一歩踏み出すたびに、英靈の皆様への畏敬と慰靈の念による凛とした空気を感じました。祭典では、献饌の手長と宮司玉串後取として所役をご奉仕いたしました。初めての場所でのご奉仕であり、かつ、今まで経験したことがない大勢での祭典奉仕だったので緊張しましたが、無事にご奉仕ができました。祭典中には、作新学院高等学校の吹奏楽部の奏楽や、詩吟、靖国神社の歌の奏唱などがあり、英靈の御靈を慰め、安らかなることを願う気持ちがとても感じられました。

英靈の皆様が、その尊い命を懸けて守つてくださった日本。先の大戦から学んだ多くのことを礎にして、世界上位の経済大国となつた日本が、これからも平和を尊び、英靈に恥じない国体を護持し、発展していくことを願っています。

(大前神社 根本直樹)



戦後七十年 終戦の日 栃木県護国神社 正式参拝

八月十五日、大東亜戦争終結七十年の節目を迎えるこの日に、会長以下十五名にて英靈の眠る栃木県護国神社へ参拝致し、戦場で散つた英靈の方々へ哀悼の意を表すると共に感謝の誠を捧げました。

大東亜戦争では約三百五十万もの勇敢な兵士の方々が命を落とされました。戦後、アメリカの占領下でありながら国体が守られ、今こうして私たちが日本人として平和な生活を送ることができるものも、戦時中に命を懸けて國を守つてくださった兵士の方々のおかげに他なりません。近年では、靖国神社をはじめ各県の護国神社に政治家の方々が参拝すると、日本が行つた侵略戦争を肯定することになると一部の国や団体からの批判がありますが、國を守るために戦い亡くなつた方々に対し、哀悼の意を表することは各国で当然に行われており、戦争賛美の念など全くありません。國のために命を落とされた英靈に対して感謝を捧げるのは至極当然のことです。こうした現状を憂い、自分で出来ることを見つけて何か行動を起こさなければ、命を懸けて日本を守つて下さつた英靈に顔向けできないのではないでしようか。

今を生きる我々には、戦争を後世に正しく伝える義務があります。戦後、日本では自虐史観的な考えが蔓延してきました。勿論、戦争とは悲惨な行為で極力避けて通るべき道であることは間違いません。ですが、当時の日本では避けて通れない道であります。日本から戦争を仕掛けたという一部分のみを切り取るのでなく、当時の世界情勢、日本を取り巻く環境、戦争に至った経緯などをしつかり知る必要があります。これらを学び、同じ過ちを二度と犯さぬよう未来へ進んで行くことこそが、英靈への一番の慰めになるのではないか。



**栃木県神社庁 大東亞戦争終結七十年英靈顯彰事業
「沖縄慰靈の旅」によせて**

ラジオから流れる『大東亞戦争終結ノ詔書』に日本中が静まり返つた日から七十年。先の大戦において南方方面で戦歿された本県出身者三万三千四百九十五柱を御慰めする『栃木の塔』に於いて慰靈祭を斎行すべく、栃木県神社庁長石原敬士様を団長に県内神職三十名が「沖縄慰靈の旅」一団として結集した。今回その末員へと快く送り出して下さった、私の奉務する日光二荒山神社の吉田宮司をはじめ、職員一同には先ず以て感謝の意を申し上げさせて戴きたい。

畏れ多くも祭員を仰せつかりし由はこの上ない名譽であるし、心身が引き締まる思いであった。九月二十八日、むすび会諸兄諸姉の代表として柳田会長以下会員五名、心あらたに沖縄の地を踏んだのである。

慰靈祭は厳粛に進み、斎主である黒川正邦副庁長様の祝詞、石原敬士府長様の祭文が奏上されると、まるで我々の祈りを英靈の許まで届けてくれるかのようだ、不思議な風が吹いて摩文仁の丘の南洋樹を揺らし、真っ青な空高くへ吸い込まれていった事を覚えている。

大東亜戦争終結七十年の節目にあたり、同郷の英靈はもとより、戦火で尊い命を落とされたすべての方々の御靈がいつまでも安らかであらんことを祈り、先人たちの礎の上に今日の平和と繁栄がある事への感謝の誠を捧げ、結びと致します。

(日光二荒山神社 福田有宏)

「大東亞戦争終結七十年」戦没者慰靈祭 式次第

時刻、斎主以下祭員並びに参列員参進
先ず、戦没者に対し默祷を捧げる

次に、国歌斎唱	斎主	栃木県神社庁副庁長	黒川 正邦
次に、修祓	副斎主	祓主、陪膳 教化委員長	星宮神社宮司
次に、斎主一拝	祭員(一) 大麻所役	当会会長	大前神社禰宜
次に、献饌	祭員(二) 祝詞後取	全 副会長	日光二荒山神社 権禰宜
次に、祝詞奏上	祭員(三) 玉串後取	全 会員	村檜神社宮司
次に、國の鎮め	典儀	教化委員会役員	宇都宮二荒山神社 権禰宜
次に、海ゆかば	楽人 笙	当会会員	古峯神社 権禰宜
次に、玉串奉奠	楽人 箕篥	全 相談役	愛宕神社 禰宜
次に、撤饌	樂人 笛	栃木県神社庁主事	栃木県神社庁 禰宜
次に、斎主一拝	樂人 笙	全 相談役	湯澤 義之
次に、直会	樂人 箕篥	栃木県神社庁主事	滝口 敦
次に、斎主以下祭員並びに参列員退下	樂人 笛	樂人 箕篥	貴史
[奉仕神職]			



平成二十七年九月 関東・東北豪雨



平成二十七年九月に発生した台風十八号は九月九日に東海地方へ上陸したのち、同日夜に日本海で温帯低気圧になりました。この台風による直接的な被害は大きくなかったものの、日本海を北東に進む温帯低気圧に太平洋上から湿つた暖かい空気が流れ込み、日本の東の海上から日本列島に接近していた台風十七号から吹き込む湿つた風とぶつかつたことで線状降水帯が発生しました。関東地方北部から東北地方南部を中心として二十四時間雨量が三〇〇ミリ以上の豪雨とそれに伴う大規模な被害をもたらしました。

九月七日〇時から十日十七時までのアメダス観測値によれば、二十四時間雨量として十日の朝までに栃木県の日光市五十里で五一・〇ミリ、日光市今市で五四一・〇ミリなど栃木県内の各所で三〇〇ミリ以上を観測しました。また、期間降水量は今市で六四五ミリ、五十里での六二二・〇ミリ、今市の五九七・〇ミリ、土呂部の五六一・五ミリなど栃木県の各所で四〇〇ミリ以上を観測しました。

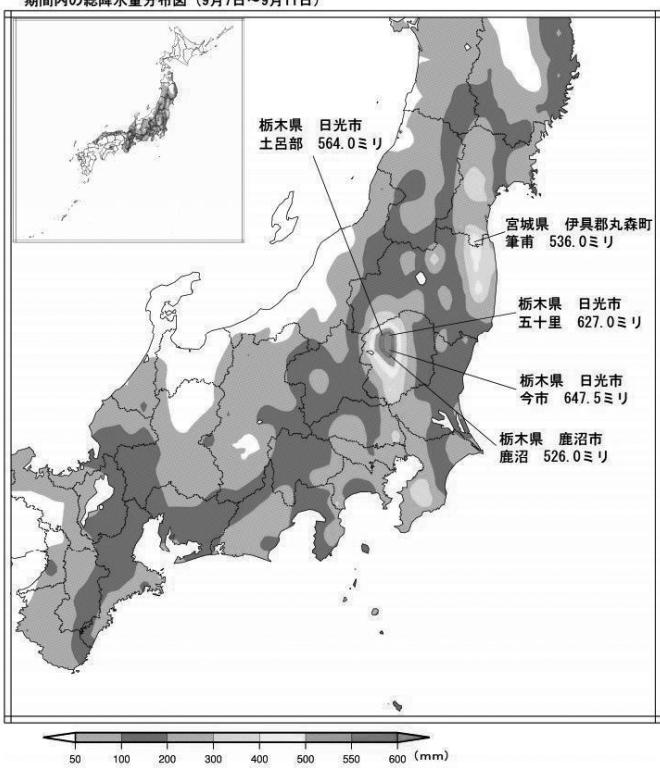
平成二十七年九月に発生した台風十八号は九月九日に東海地方へ上陸したのち、同日夜に日本海で温帯低気圧になりました。この台風による直接的な被害は大きくなかったものの、日本海を北東に進む温帯低気圧に太平洋上から吹き込む湿つた風とぶつかつたことで線状降水帯が発生しました。関東地方北部から東北地方南部を中心として二十四時間雨量が三〇〇ミリ以上の豪雨とそれに伴う大規模な被害をもたらしました。

この豪雨により岩手県から香川県までの一都十九県で約二四万人に避難指示が、約三一五万人に避難勧告が発令されました。また、十日五日に公表された集計で確認されている死者は八名、負傷者七五名、家屋の全壊七五棟、半壊三八五一棟、一部破損九五棟、床上浸水七七一六棟、床下浸水一三二六一棟、非住家被害は一〇四棟となっていました。

気象庁は関東地方及び東北地方を襲った豪雨及びそれによってもたらされた被害に関して「平成二十七年九月 関東・東北豪雨」と命名しました。

(乃木神社 津田宏)

期間内の総降水量分布図（9月7日～9月11日）



太平山神社 関東・東北豪雨被害 復興支援作業



九月九・十日に記録的な降水量を記録した関東・東北豪雨により、太平山神社の本殿裏で土砂崩れが起こり、本殿の脇から拝殿付近にかけて大量の土砂で埋まっています。事態の報告を受けた柳田会長が当会全会員に緊急召集をかけ、十七日の午前九時から当会全員十四名と滝口相談役・小堀先輩・櫻木先輩の三名の十七名にて復興支援作業を行いました。

当日は朝から雨が降っていたため、全員雨具と長靴を身に着けての作業となりました。土砂崩れの起きた土質は、粘土質で非常に粘り気が強く、雨水を含んでさらに重さが増していました。吾々はそれぞれ担当する場所に分かれて、土砂を掻き出し、土嚢袋に詰めて参道に運びだし、一輪車に載せて廃棄場まで運び土砂を廃棄するという、一連の作業を行いました。気温は二〇度程度と、比較的涼しい日でしたが、重い土砂を扱う作業と雨具により、衣服はすぐに汗でびしょびしょになっていました。無理のないように隨時休憩を取りながら、約三時間の作業を遂行しました。

作業後は、小林宮司様のご厚意により、山田家にて昼食をいただきました。宮司様より神社の被災状況について詳しい説明があり、改めて太平山神社の大変な大きさを考えさせられました。関東・東北豪雨により被災された多くの方々と太平山神社の一刻も早い復興を祈ります。

(大前神社 根本直樹)



広報委員会・研修委員会 合同研修会第一部

平成28年3月吉日

今回の研修会は、私が三月に大前神社に奉職させていただいてから、初めての参加となりました。このようなむすび会の研修会に参加させていただき、神職として非常に大切な知識を勉強できたことを大変嬉しく思います。

第一部の現代の企業広告と広告ビジネスを学ぶ会ですが、神職の使命でもある『教化』のためには、まず神社の存在を一人でも多くの方に知つていただく必要があります。そのために必要な考え方や方法論など、広告・広報についての幅広い知識を得ることができました。特に、神社のHPに代表されるペイドメディアから、いかにして人々の心を掴むSNSなどのアーバンドメディアに繋げていくのか、さらに、口コミなどのオウンドメディアに繋げていくかを考えるよい契機となりました。

広告や広報の知識は、神様へのご奉仕に直接関わることではなく、いわゆる『俗』の世界にあたることだと思います。しかし、これをおろそかにしては、神社のみならず、参拝者や氏子・総代の方々に至るまで、ご迷惑をお掛けしてしまうことも考えられます。私は、今回この研修会で勉強させていただいたことを、しっかりと普段の社務に反映させ、一人前の神職になるための糧としていきたいと思います。今回このような機会を与えてくださいました柳田会長はじめ、研修会を企画・準備された広報委員会・研修委員会の皆様に厚く御礼を申し上げます。

(大前神社 井上潤一)

広報委員会・研修委員会 合同研修会第二部

八月二十日、栃木県神社庁の大講堂において、広報委員会と研修委員会による合同研修会が開催されました。内容は、日本大学法学部新聞学科の湯浅正敏教授による広告論の講演と、T&Dパートナーズの鈴木竜也氏、ソニー生命の佐藤貴史氏による保険講習会でした。

保険講習会では、境内の中での倒木や将棋倒しのような事故が起きた時に、責任が最終的に神社に行くことも多いということを学びましたが、その賠償に対応できる施設賠償保険のような保険は心強いものです。倒木や落ちてきた木の枝で参拝者が大怪我を負ってしまった時に、支払わなければならぬ賠償金の額を考えると、尚更ありがたいものであると思います。また、火災保険では建物が複数ある場合、その建物の分だけ保険に入らなければならないということで、保険の内容をしっかりと確認し、思わず落とし穴に引っかかる事のないようになります。私は、はいけないと感じました。

神宝のような由緒のあるものなど、評価額が決められないものにはそもそも保険をかけられない物もあるので、事故が起こらないようにする事も勿論大事なのですが、事故などが起こってしまった場合には大きな助けになるので、万が一の対策として加入するのも一つの手であると思いました。

(宇都宮二荒山神社 矢部貴也)



むすび会広報委員会・研修委員会合同研修会 【概要】

神社広報を考えていく上で有益な広告論の知識と現代の企業広告手法・コンテンツマーケティングの知識、神社運営に役立つ保険の仕組みや内容、生保・損保の知識をそれぞれの専門家から学ぶための研修会。

第一部 『現代の企業広告と広告ビジネスを学ぶ会』

講師 日本大学法学部新聞学科 湯浅正敏教授

第二部 『保険講習会』

①神社に関する損害保険について

講師 T & Dパートナーズ

②生命保険について

講師 ソニー生命

③対人コミュニケーションについて

講師 ソニー生命

佐藤貴史氏

鈴木竜也氏

栃木県神社庁教化委員会合同事業 御田植祭



五月二十三日、栃木県神社庁教化委員会と当会の恒例行事である御田植祭が、滝口相談役宅にて管理されている那須烏山市志鳥の神田において、快晴の空の下に斎行されました。好天に恵まれた秋空の下、神本年で十四回目を数える本行事は、昨年に引き続き宇都宮市の八幡台幼稚園の園児達、先生方、父兄の方々の参加を頂きまして、横瀬副会長斎主のもと、厳粛に神事が執り行われました。

神事の後に、小林教化委員長様から園児達に「食べ物への感謝」等の講話を頂き、参加者全員で神田に入り、田植え作業を行いました。三〇度に迫る季節外れの暑さの中での奉仕となりましたが、神田の水は思いの外冷たく、園児達は驚いていたようでした。はじめのうちは田んぼの土に足を取られ、悪戦苦闘をしていた様子でしたが、後半には大分慣れ、会員達と一緒に上手に苗を植えていました。

園児達にとって、食べ物を食べられる幸せ、食べ物を作る大変さを実感する貴重な経験となつたことだと思います。私自身も食物への感謝、自然への感謝を再認識する機会となり、日本人が大切にしてきたこの気持ちを、神職として守り伝えていけるよう、日々励んでいきたいと思います。

(日光二荒山神社 佐藤大直)



(白鷺神社 大塚聰)

十月三日、那須烏山市志鳥の滝口相談役宅にて管理されている神田に於いて、拔穂祭が執り行われました。好天に恵まれた秋空の下、神田前に設けた祭場にて、栃木県神社庁教化委員会と当会合同で斎行され、地元の那須烏山市つくし幼稚園の園児達と先生方にもご参列いたしました。

春に御田植祭を行つてより順調に生育し、たわわに実つた「イセヒカリ」を神事の中で斎主が刈り入れて神前にお供えした後、各々玉串を捧げて拝礼いたしました。

神事の後には、園児達とともに刈り入れを行い、小さな手に鎌を握り一生懸命に稻を刈る園児達のほほえましい姿がとても印象的でした。子供達が今回の体験を通して、普段食べているお米が自然の恵みや農業に携わる人達の働きや大神様のお力によって作られているという事を学び、また、それらの尊い働きに感謝し食物を大事にする気持ちを育み、日本の文化である稻作に親しむきっかけになることを切に願います。

私自身も今回拔穂祭に参加させて頂き、改めて稻作と神道の関わり、日本古来より継承されてきた稻作文化を後世に伝えてゆくことの重要性を強く実感いたしました。今後も当会に於ける様々な活動や日々の神明奉仕に努め、精進を重ねていきたいと思います。

栃木県神社庁教化委員会合同事業 拔穂祭

第十九回神青協一都七県協議会 神職野球大会

十月八日、明治神宮外苑球場にて一都七県神職野球大会が開催されました。当日は台風の影響か、時折激しい風が吹く事もありましたが、晴天のもとプレーする事が出来ました。参加させていただいて、純粋に楽しかつたです。

今回のチームは、「誰ひとりケガをしない事」、「全員が野球を楽しむ事」の二つを目標に掲げて試合に臨みました。全ての試合が敗退という残念な結果になってしましましたが、勝ち負けに拘らずチーム一丸となって全力でプレーし、ケガなく楽しむ事が出来ました。フェアプレーの精神により会員同士はもとより、同志である神青協一都七県の皆様とも親睦が深まり、繋がりも広がったものと思います。

また、茨城県チームは今大会、九月九日から十一日に発生した関東・東北豪雨によつて甚大な被害を受けた県内地域へ復興支援を行つた

記しておきます。

今大会を通して培つた青年神職同士の繋がりや、青年神職ならではの精神を活かして、日々の神明奉仕に励むと共に、栃木県ならびに隣県で起つた関東・東北豪雨災害の復興支援活動にも、協力して取り組んでいければと思います。



(日光二荒山神社 山本明翔)



(瀧尾神社 増渕直紀)

第六回神青協一都七県協議会 フットサル大会

十一月二十四日、国立代々木競技場フットサルコートにて、第六回神青協一都七県協議会主催のフットサル大会が開催されました。当会チームはこれまで出場した全ての大会において優勝という成績を残していますが、今回当会エースの板垣会員不在だつたため、「エース不在の板木は弱い。」と言われては悔しいと思い、参加者八名が、今回の戦いも「絶対に負けられない」という思いで試合に挑みました。

大会も第六回ということで、各県のフットサルチームのレベルも年々高くなつております。白熱した試合が見られました。月一回のペースで練習しているという神奈川県チームに苦戦しましたが、当会チームは敗戦することなく全試合に勝利することができました。

また、大会終了後の親睦会には、当会会員も数名が出席させていただきました。他県青年会会員の方々と様々な意見交換することが出来、吾々が普段奉仕している神社や地域に、少しでも貢献できるように各々参考になつたのではないかと思います。

フットサルを通して他県の青年会の方々と楽しく有意義な時間を過ごせたことを大変うれしく思います。最後に、今後も素晴らしい親睦や様々な活動を通して、より一層深い絆を築いていくよう、むすび組んでいければと思ひました。

東日本大震災物故者慰靈祭並びに早期復興、祈願祭

平成二十八年三月十一日午後二時四十六分、神青協一都七県協議会主催のもと、東日本大震災物故者慰靈祭並びに早期復興祈願祭が茨城県大洗海岸にて斎行されました。当日は、多くの方々に参列していただきましたが、時折、砂浜に打ち寄せる力強い波を見てあの津波被害を改めて思い出したのは私だけではないように思います。

東日本大震災から五年という歳月が経過した今日では、「もう五年経つた」と感じる人や、「まだ五年しか経っていない」と感じる人もいます。ひとりひとりの立場や感じ方が違うので適切な表現はありませんが、私たちの中で震災当時の記憶が風化しているという事実を感じざるを得ないと思います。風化を止めるることはできないかもしれません、和らげることは出来るはずです。私たち神職が出来る最たることは「祈り」を捧げることだと感じています。「祈り」というを行いを通して、一都七県の神職が今日の慰靈祭並びに復興、祈願祭に集うように、多くの人が集まり一つの事を成し遂げようとする力が生まれます。人々が集うところに生まれる大きな力を活かして日々の防災意識を高め、被災地の復興への努力を怠ることなく、力を合わせていく必要があると思います。

地域の中心たる神社として、私たち神職が復興の担い手となり、「祈り」を捧げ行動に移していくことの大切さを実感しました。そして、震災や津波により尊い命を奪われた一万九千を超える多くの御靈が、いつまでも穏やかに鎮まりますよう心からお祈りいたします。

(日光二荒山神社 山本明翔)



むすび会HP更新のご報告

平成二十七年度に更新作業を、左記の通り行いました。

当会の事業や当会会員が参加した神青協一都七県協議会の事業を、適宜お知らせ欄や活動報告欄に掲載し、継続的な情報発信に努めていきたいと思います。また、HP運営・管理に関しまして、今後とも会員の皆様からの積極的なご意見をいただければと思います。

- ・会員紹介ページを新体制に更新。
- ・会員紹介アンケートの回答内容をアップ。
- ・五月二十三日 御田植祭記事をアップ。
- ・八月十五日 栃木県護国神社正式参拝、全体会議記事をアップ。
- ・八月二十日 広報委員会・研修委員会合同研修会記事をアップ。
- ・九月十七日 太平山神社復興支援作業記事をアップ。
- ・十月八日 神青協一都七県協議会野球大会記事をアップ。
- ・平成二十八年三月十一日 神青協一都七県協議会東日本大震災物故者慰靈祭並びに早期復興祈願祭記事をアップ。

(むすび会HP管理担当 大前神社 根本直樹)

The screenshot shows the homepage of the Tochigi Youth Shrine Mu Subi Kai website. The header features the organization's name in both Japanese and English (TOCHIGI MUSUBI-KAI) along with a logo of two hands holding a circular emblem. The main visual is a black and white photograph of several people in traditional white shrine service attire (shim笼) gathered around a small shrine or altar. Below the photo is a news feed section titled 'お知らせ' (Announcements). The first item is dated September 15, 2015, and discusses damage from a typhoon and relief efforts at the Taisan Shrine. The second item is dated August 16, 2015, about a joint seminar with the Tochigi Youth Shrine Association. The third item is dated August 14, 2015, about participating in the formal opening of the Kamo Shrine. On the right side of the page, there is a sidebar for 'Ise Shrine' featuring a small image of the shrine and a link to its official site.

平成二十七年度 役員幹事氏名

[地区代表幹事]

中央地区代表 (宇河支部・宇都宮二荒山神社・栃木県護国神社)
 小林迪寛 宇都宮二荒山神社 権禰宜
 北東部地区代表 (芳賀支部・大前神社・塙谷支部・南北那須支部)
 津田宏 乃木神社 権禰宜

西部地区代表 (上都賀支部・日光二荒山神社・古峯神社)
 福田直之 日光二荒山神社 権禰宜
 南部地区代表 (下都賀支部・唐澤山神社・安佐支部・足利支部)
 沼部泰幸 須賀神社 権禰宜

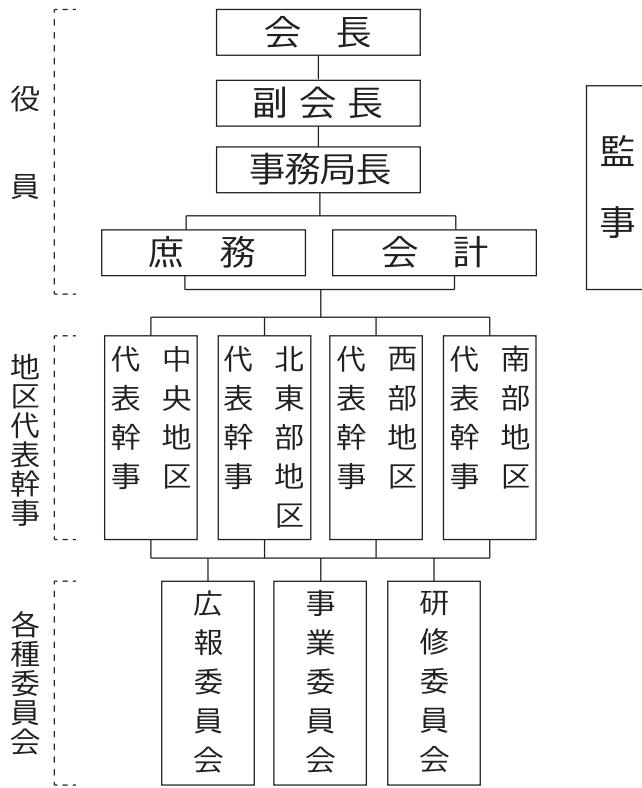
監	副	会
事	務	長
會	務	長
計	局	長
兼	会	長
涉	長	長
外	事	長
事	務	長
務	事	長

柳田 橫瀬 勝宣 耕史
 上野 田邊 有宏
 寺内 多田 岩松 大柿 文彦 史恵 隆一
 白鷺神社 岩崎神社 村檜神社 日吉神社 日光二荒山神社 津島神社
 大前神社 賀蘇山神社 大前神社 賀蘇山神社 大前神社
 古峯神社 日光二荒山神社 古峯神社 日光二荒山神社 古峯神社

各種委員会氏名

〔広報委員会〕		〔事業委員会〕		〔研修委員会〕	
副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長
大塚秋元	坂本	和田高槻	板垣林之介	根本喜充	黒本裕子
聰亮平	龍彦	晋典	春日神社	直樹	明翔
白鷺神社	太平山神社	瀧尾神社	今宮神社	大前神社	古峯神社
乃木神社			日光二荒山神社		
權禰宜	權禰宜	權禰宜	權禰宜	權禰宜	權禰宜
權禰宜	權禰宜	權禰宜	權禰宜	權禰宜	權禰宜

栃木県青年神職むすび会 組織図



新入会員紹介



半田 誠也

奉職先 今宮神社
役職 出仕

自分を一言で表現して下さい 素直
これからの抱負をお願いします 社務に慣れ、
たくさんの経験を積んで神社に貢献していきたい。



田名網 健太



矢部 貴也

奉職先 古峯神社
役職 出仕

自分を一言で表現して下さい 地味
これからの抱負をお願いします 質素儉約を心掛け、
数十年後には社殿の建て替えをしたいです。



井上 潤一

奉職先 宇都宮三荒山神社
役職 出仕

自分を一言で表現して下さい 真面目

精一杯頑張ります。
これから抱負をお願いします 力を尽くして、



越口 政典

奉職先 天満宮
役職 櫻宣

自分を一言で表現して下さい 前向き

これから抱負をお願いします 氏子、崇敬者との
コミュニケーションを積極的に行つていい、神職と
してしっかりととした実践を積んで経験を重ね、沢山
の知識を備えていきたい。

奉職先 大前神社
役職 権櫻宣
自分を一言で表現して下さい 人懐っこい
これから抱負をお願いします 神社界や地域の
発展に貢献できる神職を目指していきたいです。

とちぎ蔵の湯

柏倉温泉 太子館

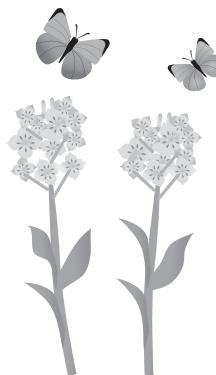
〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町967
TEL(0282)23-5035(代) FAX(0282)23-5082
<http://www.taishikan.jp> ■ 0120-235035

祝 御結婚

和田 晋典

奉職先 瀧尾神社

入籍日 平成二十七年十月二十五日
新婦氏名 和田温子(旧姓 佐藤)
新郎のつぶやき 今後ともよろしくお願ひします。



報德二宮神社

下都賀支部
琴平神社
春日神社
鷲宮神社
磐根神社
三毳神社
三毳神社
諫訪神社

日枝神社	八坂神社	八坂神社
胸形神社	須賀神社	高椅神社
須賀神社	高椅神社	高椅神社
高椅神社	八幡宮	八幡宮
八幡宮	雄琴神社	磐裂根裂神社
雄琴神社	鷲宮神社	鷲宮神社
磐裂根裂神社	鷲宮神社	鷲宮神社
鷲宮神社	星宮神社	唐澤山神社
星宮神社	唐澤山神社	唐澤山神社
唐澤山神社	雀神社	一瓶塚稻荷神社
唐澤山神社	賀茂別雷神社	賀茂別雷神社
賀茂別雷神社	加茂別雷神社	加茂別雷神社
加茂別雷神社	宇都宮神社	宇都宮神社
宇都宮神社	示現神社	八坂神社
示現神社	八坂神社	八坂神社
八坂神社	浅間神社	浅間神社

熊倉山 杉勝敏 千早
栗原沼 部 博成
角田角 田 博成
栗原栗 原 千早
黑川刀 川 千早
栗原栗 原 千早
城治正 邦 千早
宏子英 之 千早
宇賀神義 宣 千早
新村新 井 嶽一
安蘇谷正 彦 嶽一
毛利晴 喜 嶽一
八下田勇 人 嶽一
八下田承 子 嶽一
木村直 樹 幹男
宮田義 丸 幹男
齊藤重 雄 幹男
石田雅 寿 幹男

贊助會員各位

お陰をもちまして百二十名を超える多くの先輩諸兄にご贊助賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

平成二十八年四月二十一日現在

【足利支部】
日光鹿島神社
御厨神社
御厨神社
宮司 宮司
櫛宣
小野寺建富
小堀 俊夫
茂木 啓一

神道青年全国協議会の事業をはじめ
神青協一都七県協議会の諸事業への研
修会参加費の助成や、会報にも記載が
ありますように新規研修事業を企画し、
実施させて頂きました。年間贊助をお
願いしておりましたが、多くのご協力
を頂くことができ、任期二年間での贊
助会員とさせて頂くことと致しました。
今年度も会員一同、自己研鑽と斯界
の発展を目指し邁進してまいりますの
で、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願
い申しあげます。

(会長 柳田耕史)



大当たりのお手伝い

株式会社 下野廣告社
〒320-0051 宇都宮市上戸祭町520-8
TEL 028-666-8123 FAX 028-666-8133

SHIMOTAKE advertising

宮内庁
神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁 御用達
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教団

株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前
東京都台東区東上野3丁目17番9号
電話 03(3835)3201(代)
FAX 03(3835)0617
<http://www.ootsuki-shozokuten.com>



祈りをかたちに

授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所
代表取締役 長谷川義貢
〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
TEL 048-921-1221(代表) FAX 048-921-1515

【取扱品目】神具・祭具・御守・神棚・調度品・記念品・雅楽器・木工品
神祭具の事なら民俗工芸にお任せください
ご注文専用フリーダイヤル

TEL: 0120-534-550
FAX: 0120-872-550

ホームページからのご注文も承っております
URL <http://www.minzoku.co.jp>

株式会社 民俗工芸 〒857-1162
長崎県佐世保市卸本町18-1
土曜日も平常通り営業いたしております



全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

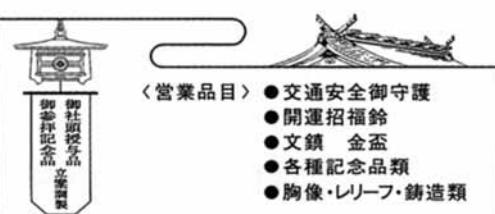
創業100年 真心で奉仕する

今村紙業株式会社
代表取締役 今村 力男
〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
TEL 055(272)0514(代)
FAX 055(272)8818

営業品目
縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金襴綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製
株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010(代表)
FAX (0282) 62-2061



鈴木徽章工芸株式会社
〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
<http://www.suzuki-kisho.co.jp>

創業150年 各種御神符・守札
その他授与品全般

湊御神符奉製所
株式会社 湊

伊勢市神宮会館前(〒516-0025)
TEL (0596) 22-2442(代表)
FAX (0596) 28-8445

社寺建築請負い

株式会社 石川工務店

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地

TEL 0288-53-0408

神祭具 授与品 記念品 奉製

株式
会社

神路社

本社 三重県伊勢市岩瀬2丁目5番29号(私書函第26号)
 〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
 I.P.電話 050-3536-5273
 URL <http://www.kamijisya.co.jp>
 E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号ACTビル4階
 (東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
 〒150-0013 I.P.電話 050-3539-3432
 E-mail shinen@kamijisya.co.jp

伊勢名物 岩戸餅

お食事、
おみやげ、
ご休憩に
宇治橋より
歩いて30秒

伊勢内宮前 岩戸屋

〒516-0024 三重県伊勢市内宮前おはらい町通り58
 TEL 0596-23-3188
 FAX 0596-28-1322
<http://www.iwatoya.co.jp>
 E-Mail:info@iwatoya.co.jp

創業百年信頼のブランド
麻・鈴緒・鰐口紐・化織注連縄製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
 フリーダイヤル 0120-22-1312
 FAX 0282-22-1387
<http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top>

内宮に一番近い宿

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館

伊勢神宮崇敬会

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
 TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

各授与品、記念品奉製

金襴綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー

・その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
 TEL 水戸 (029)251-2051(代)
 FAX 水戸 (029)253-5844

御社頭授与品奉製

※御希望通りの御調製申し上げます。
御一報次第参上致します。

新日本工芸株式会社

〒311-4153
 茨城県水戸市河和田町3891
 電話 (029)251-0997(代)
 FAX (029)252-8287

神祭具・御装束・雅楽器類
授与品・結婚式場調度

(株)高善装束店

代表取締役 桑 真一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9
 TEL 03(5815)8771
 FAX 03(5815)8772

総合印刷**(株)井上総合印刷**

代表取締役会長 井上 光夫

代表取締役社長 井上加容子

本社 宇都宮市岩曽1355

TEL(028) 661-4723

FAX(028) 662-7607

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996**授与品専門奉製所****帝陸神宝(株)**

商標登録 「夢みくじ」「一期一会御守」

〒310-0902 水戸市渡里町835-1

TEL(水戸) 029(227)0511(代)

FAX(水戸) 029(227)0512

【高級】**西陣織** 各種金襤錦守・木札・紙札・ステッカー
絵馬・木彫・土鈴・装束・撒餌・記念品御社ならではの御守をオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気軽に御相談ください**京都奉製株式会社**

京都本社／東京営業所

仙台営業所／福岡営業所

TEL 0120-164124 (イロヨニイシキ) <http://www.omamori.co.jp>**足袋・和装用品専門店**

株式会社 福生

〒590-0953

堺市堺区甲斐町東1丁2-30

フリーダイヤル 0120-29-0051

FAX 0120-29-0052

ホームページ <http://www.tabiya.net>**県内各神社様、工事拝命先(順不同)**

日光 東照宮
日光二荒山神社
宇都宮二荒山神社
真岡大前神社
大田原那須神社
西那須野乃木神社
氏家今宮神社
足利星宮神社

株式会社

矢板木幡神社
小川温泉神社
足利権崎八幡宮
佐野人丸神社
下野一社八幡宮
祖母井神社
足利八雲神社
一瓶塚稻荷神社

**小西美術工藝社**〒321-1421 栃木県日光市所野2829-1
〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三井HKBビル3階
TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)5765-1481(代)**ようこそお伊勢さんへ**

勢乃國屋では、豊富なおみやげ品、
伊勢の郷土料理を用意して、
皆様のお越しをお待ちしております。
どうぞお気軽に立ち寄りください。

～ 伊勢路の土産と御食事処 ～

伊勢内宮前
勢乃國屋

〒516-0024
伊勢市宇治今在家町117
TEL 0596-23-5555
FAX 0596-23-1928
URL <http://www.senokuniya.co.jp>
E-mail info@senokuniya.co.jp



株式会社 皆中 kaichu

〒156-0045
東京都世田谷区桜上水4-8-7 HALS桜上水2F
TEL 03-3302-1899 / FAX 03-3302-1900
E-Mail: koushin@kaichutabi.com
<http://kaichutabi.com>

MARKSHOP <http://palec.co.jp/>

お客様のご要望通りにカッティングシート・マグネットシートを加工致します。

カッティングシート専門店
MARKSHOP
岐阜県大垣市千鳥町3丁目13-1

TEL 0584-77-4803
FAX 0584-82-2955

マグネットシート屋さん <http://www.mark-shop.jp/>

あなたと一緒に
アイディアをカタチに
する会社です!!

株式会社 協栄社
真岡市荒町5133番地1
TEL.0285-82-9000

www.kyoeisha-printing.co.jp

編集後記

平成二十七年度は、大切な節目にあたる行事が重なった一年でした。まず、大東亜戦争終結七十年という節目の年を迎えて、各神社において戦没者慰靈祭が斎行されました。八月十五日の終戦記念日には、栃木県護国神社での正式参拝を執り行い、稻宮司様より貴重な講話をいただきました。昨今の国際情勢は、複雑多岐であります。先人によつて築き上げられた繁栄や平和を無駄にせぬよう、国民一人一人が国の誇りを背負つているという自覚を持たねばなりません。そして、殉國された英靈の気概をこの節目の機会に取り戻していただきたいと、改めて思いを強くした次第です。

次に、東日本大震災から五年の節目を迎えました。三月十一日に大洗海岸で行われた、神青協一都七県協議会の物故者慰靈祭並びに早期復興祈願祭には、当会会員も祭員奉仕と参列をいたしました。震災後、当会も微力ながら様々な復興支援活動を行つて参りました。ですが、本当の復興にはまだまだほど遠いように思われてなりません。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、本年もお陰をもちまして『会報むすび第四〇号』が発行されました。賛助会員の皆様、協賛社の皆様、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも、より良い会報の発行と広報活動を目指し、取り組んで参ります。

(日光二荒山神社 福田直之)

広報委員会名簿

委員長	根本直樹	副委員長	黒本裕子
副委員長	山本明翔	委員	黒川寧子
委員	津田宏	中田明	福田直之
担当役員	齊藤隆倫	担当役員	荒井裕美
担当監事	馬場愛	担当役員	矢部貴也
大柿	横瀬勝宣	担当役員	馬場愛
文彦		担当役員	貴也

栃木県青年神職むすび会 頒布品



着帯のお祝い(安産祈願)

腹 帯

〈岩田帯〉

頒布価格(1箱) **¥1,000円** (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し、
高級感ある桐箱に納めました。

中の帯は、縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)
注文からお届けまで、お時間をいただく場合があります。
納期に余裕をもって、ご注文ください。

ご注文
問い合わせ

〒329-0618 河内郡上三川町しらさぎ1-41-6 白鷺神社内
栃木県青年神職むすび会 事業委員会
委員長 板垣喜充 宛
【ご注文はTEL・FAXにて受付致します】
FAX.0285-56-6491 TEL.0285-56-4553



栃木県護国神社 正式参拝

目 次

会長挨拶 ······

【戦後七十年特集】

栃木県護国神社 例大祭・栃木県戦没者合同慰靈祭奉仕 ······

戦後七十年 終戦の日 栃木県護国神社 正式参拝 ······

栃木県神社庁 大東亞戦争終結七十年英靈顯彰事業 ······

「沖縄慰靈の旅」によせて 靖国神社正式参拝 ······

平成二十七年九月 関東・東北豪雨 ······

太平山神社 関東・東北豪雨被害 復興支援作業 ······

広報委員会・研修委員会 合同研修会 ······

御田植祭・拔穂祭 ······

一都七県神職野球大会・フットサル大会 ······

東日本大震災物故者慰靈祭並びに早期復興祈願祭 ······

むすび会ホームページ更新のご報告 ······

平成二十七年度むすび会事業報告 ······

平成二十七年度役員・幹事・正副委員長氏名 ······

新入会員、祝・御結婚 ······

賛助会員 ······

協賛社広告 ······

編集後記・広報委員会名簿 ······